平成 28 年度機械工作実習

座標測定機使用マニュアル





測定機は、下図のように、利き手でボタン のある握り部分を握り、利き手と反対の手で アームの肘に当たる部分を支えると良い。



握り部分については、下図のように、プロ ーブを人差し指と中指で挟むように握り、親 指でボタンを押すようにすると良い。



ボタンは「赤:決定」、「白:次へ」、「黄: キャンセル」の3つがある。(本実習では黄は 使わない。)測定中に失敗した場合は、本マニ ュアルP6を参照。



<u>計測物にプローブを当てるときは、傷つけ</u> ないように静かに当てること。



<u>【測定中に失敗してしまったら</u>】

測定中に、誤ったボタン操作等により、正 しい測定ができなかった場合は、画面右の「自 動検索」パネル内で、失敗したときに計測し ていたパーツを右クリックし、コンテキスト メニューから、「ここから開始」を選ぶことで、 再度失敗したパーツの最初から測定をやり直 すことができる。



<complex-block>

次図のように、プローブを台座上面に静か に接触させ、「赤:決定」ボタンを押すこと で、1点が計測される。



次図に示すように、8点計測する。 ※8点は適当な点数として設定している。原理的には面 は3点測定すれば特定できる。測定点数と測定精度の 関係に注意。測定点数に関する議論については以降の 測定についても同様である。



測定が完了したら、座標測定機の「白:次 へ」ボタンを押す。 8.下の画面が表示されたら、支柱2削ぎ面の 測定を行う。



支柱2削ぎ面とは、下図で測定している面 (支柱2は手前になっているはず)。



次図に示すように、6点計測する。



<mark>測定が完了したら、</mark>座標測定機の「白:次 へ」ボタンを押す。



支柱1削ぎ面とは、下図で測定している面 (支柱1は奥になっているはず)。



測定の要領は支柱2削ぎ面と同様である。
測定が完了したら、座標測定機の「白:次
ヘ」ボタンを押す。

<text>

<u>以下に示すように、</u>支柱2の円筒面につい て、6点計測する。





<mark>測定が完了したら、</mark>座標測定機の「白:次 へ」ボタンを押す。

